

# 全国中小企業動向調査結果

(2023年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業者20人未満)

### 小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲19.7となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、1.4となった。  
来期は低下する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲15.9となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

#### ■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲19.7 (+6.6)	1.4 (+5.0)	▲15.9 (+8.4)	▲17.7 (+8.0)	▲14.2 (+3.4)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

### 中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から低下し、7.1となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から低下し、17.2となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲5.2となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
7.1 (-3.7)	17.2 (-5.8)	▲5.2 (+3.2)	0.4 (+1.8)	4.1 (-0.4)

#### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:青野、葛貴)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:山口(修)、立澤)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※資料編につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

## 目次

調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### 【小企業編】

概況・・・・・・・・・・・・・・・・	3
調査の実施要領・・・・・・・・	4
業況判断・・・・・・・・	5
売上・・・・・・・・	10
採算・・・・・・・・	11
資金繰り、借入・・・・・・・・	12
経営上の問題点・・・・・・・・	13
設備投資、価格動向・・・・・・・・	14

### 【中小企業編】

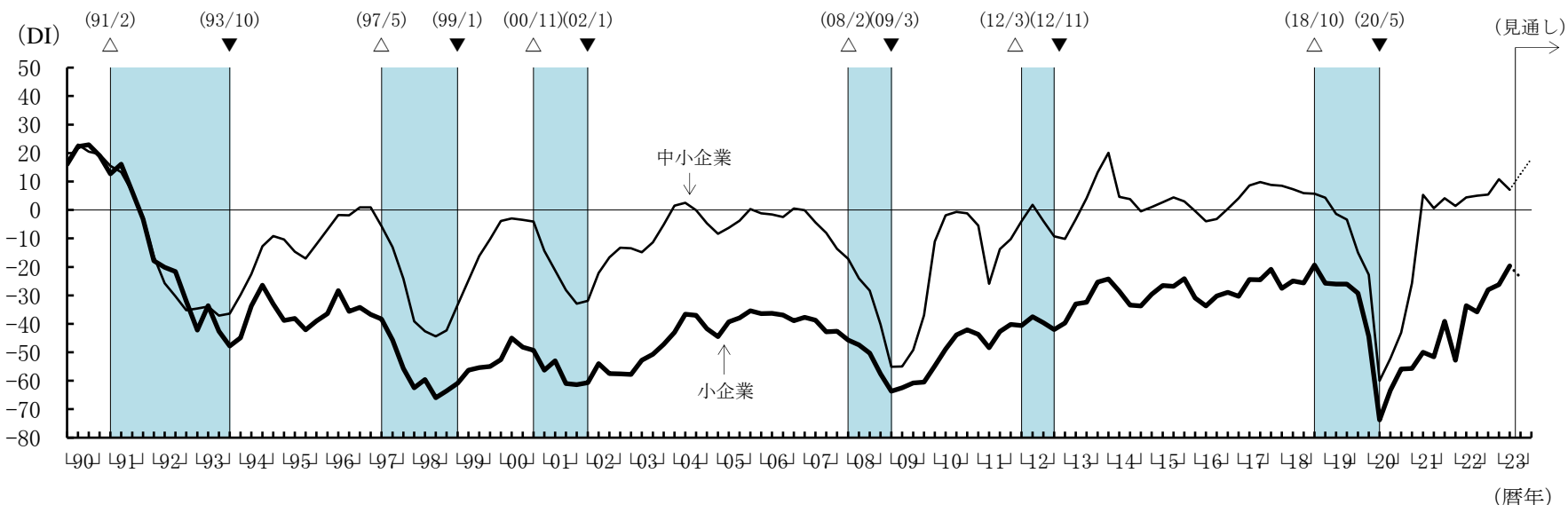
概況・・・・・・・・・・・・・・・・	15
調査の実施要領・・・・・・・・	16
業況判断・・・・・・・・	17
売上・・・・・・・・	20
利益・・・・・・・・	21
価格、金融関連・・・・・・・・	22
雇用、設備・・・・・・・・	23
経営上の問題点・・・・・・・・	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

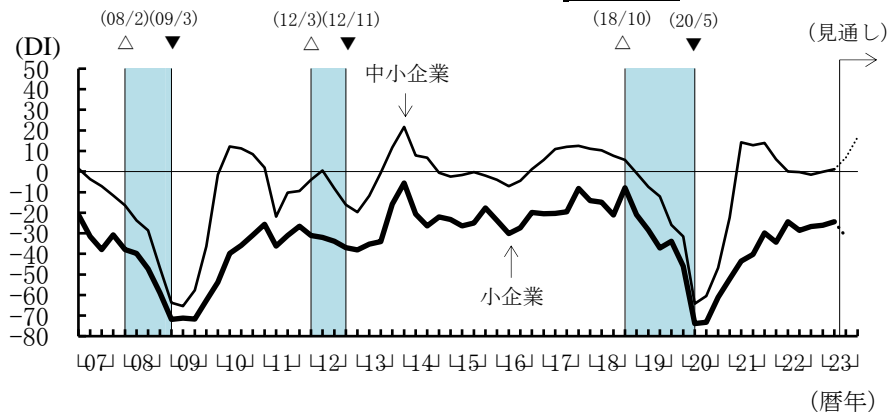
### ①全業種計

	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9 見通し	23.10-12 見通し
中小企業	5.3	0.6	4.1	1.4	4.4	5.0	5.4	10.8	7.1	12.7	18.0
小企業	▲50.0	▲51.6	▲39.1	▲52.8	▲33.6	▲35.8	▲28.0	▲26.3	▲19.7	▲23.7	-



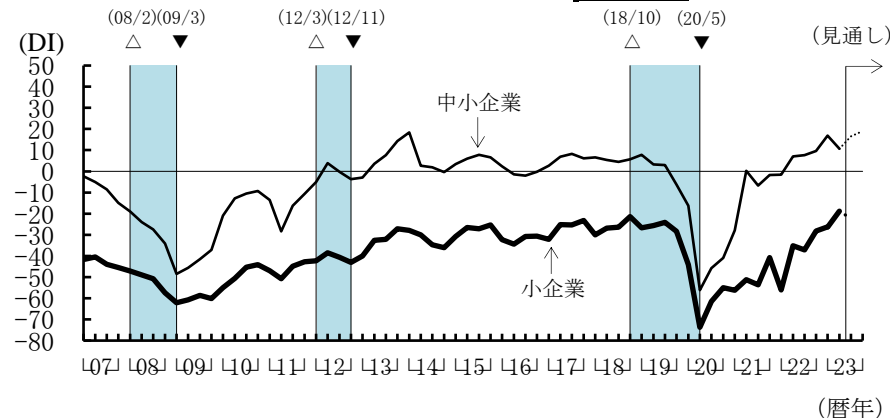
### ②製造業

	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9 見通し	23.10-12 見通し
中小企業	▲1.5	▲0.1	1.1	6.8	16.7
小企業	▲26.8	▲26.1	▲24.4	▲31.8	-



### ③非製造業

	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9 見通し	23.10-12 見通し
中小企業	9.6	16.9	10.6	16.5	19.0
小企業	▲28.3	▲26.3	▲18.8	▲22.3	-

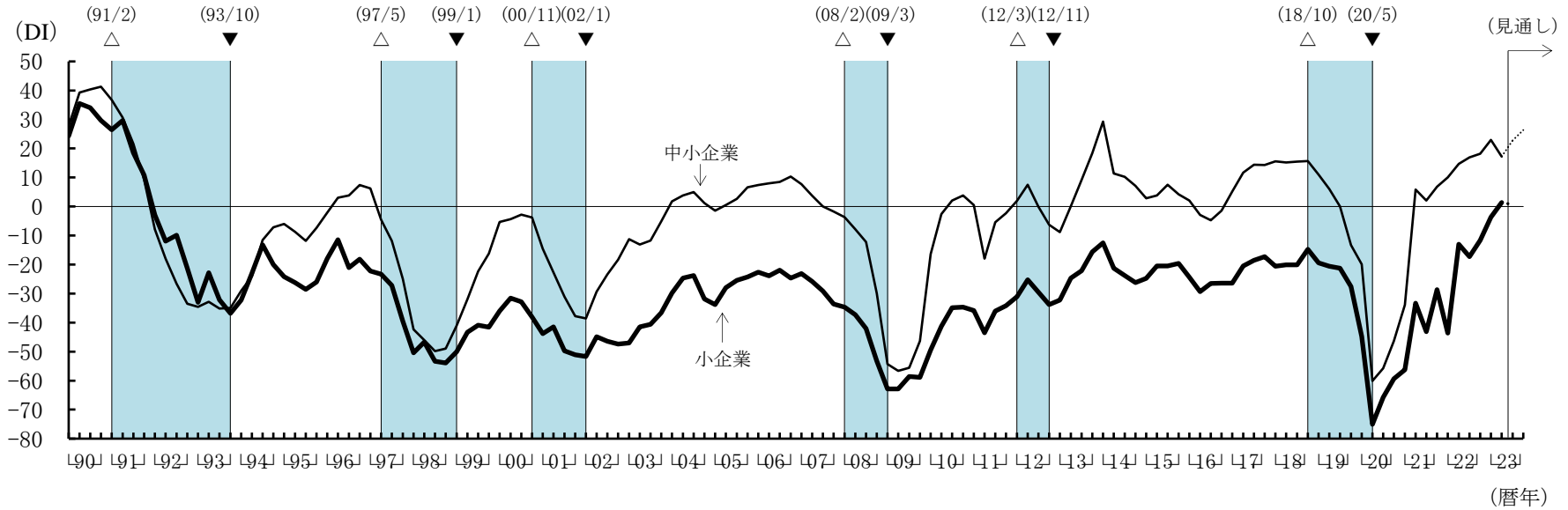


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

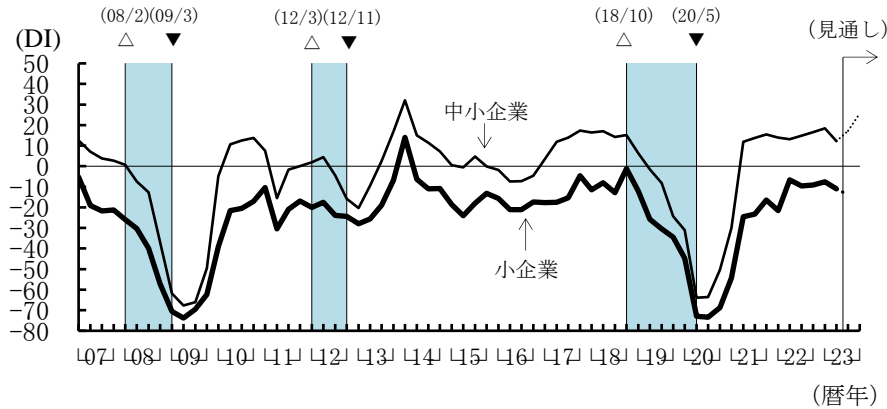
### ①全業種計

	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12
中小企業	5.9	2.1	6.9	10.1	14.7	16.9	18.2	23.0	17.2	見通し	見通し
小企業	▲33.3	▲43.1	▲28.6	▲43.6	▲13.0	▲17.3	▲11.6	▲3.6	1.4	0.6	-



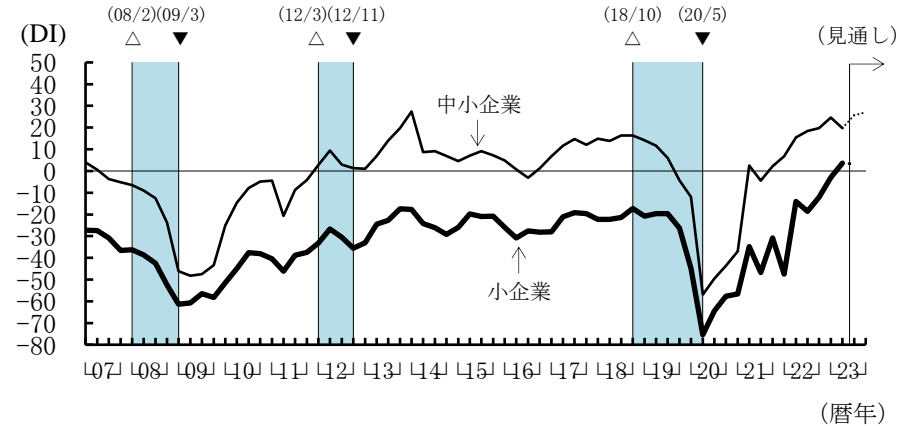
### ②製造業

	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12
中小企業	16.6	18.4	12.2	見通し	見通し
小企業	▲9.1	▲7.6	▲11.0	▲14.0	-



### ③非製造業

	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12
中小企業	19.7	24.6	19.8	見通し	見通し
小企業	▲12.0	▲2.9	3.6	3.2	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2023年4－6月期実績、7－9月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調査時点 2023年6月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業  
 有効回答数 6,034 企業 [回答率 60.3 %]

### <業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	911 企業	(構成比 15.1 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	596 企業	(同 9.9 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,394 企業	(同 23.1 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	916 企業	(同 15.2 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,278 企業	(同 21.2 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	72 企業	(同 1.2 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	725 企業	(同 12.0 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	142 企業	(同 2.4 %)

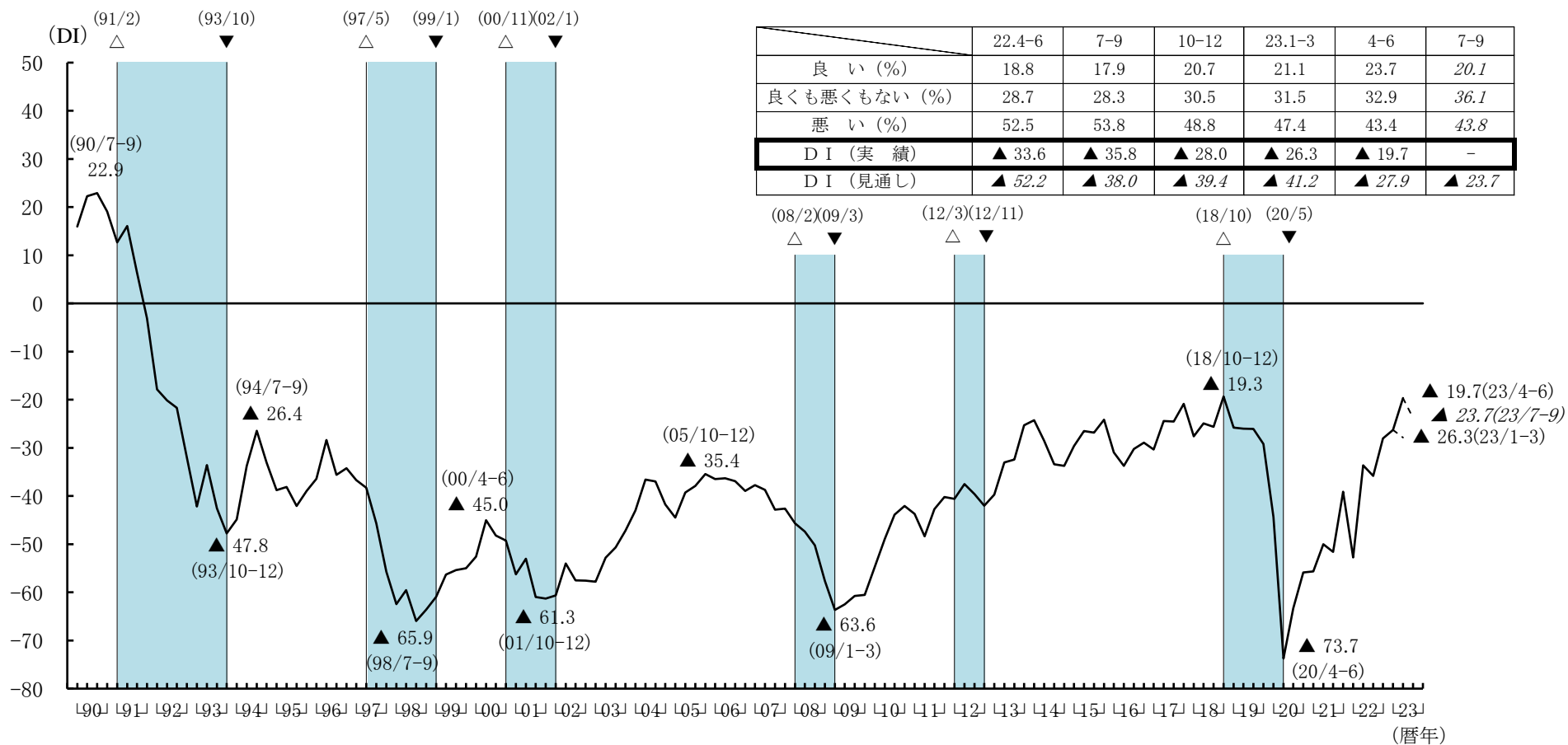
(参考)

法人	4,016 企業	(構成比 66.6 %)
個人	2,018 企業	(同 33.4 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2023年1-3月期）からマイナス幅が6.6ポイント縮小し、▲19.7となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲23.7となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）

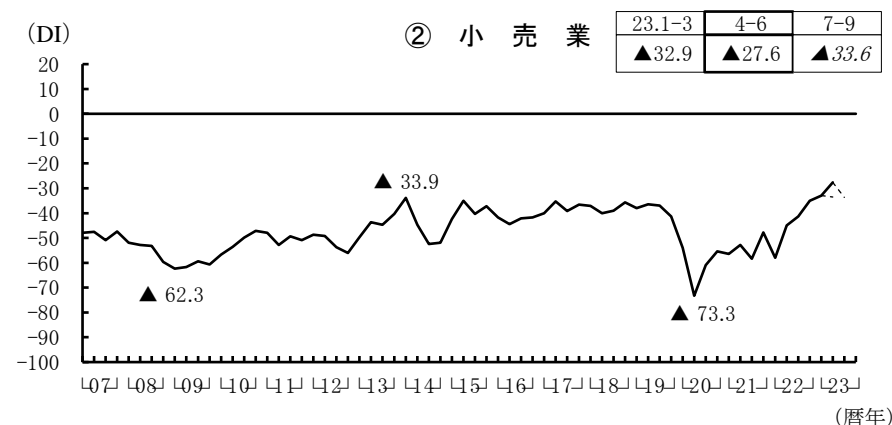
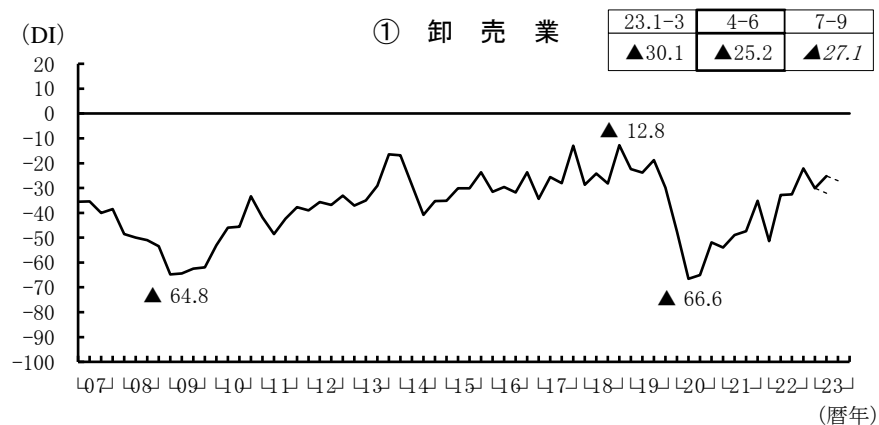
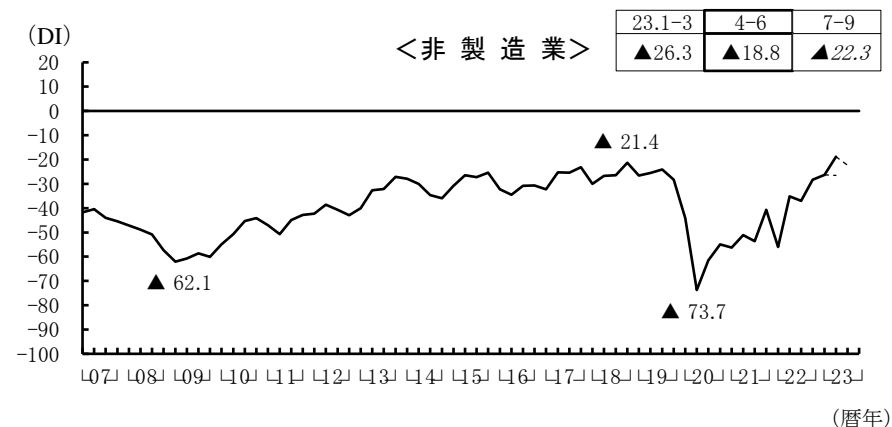
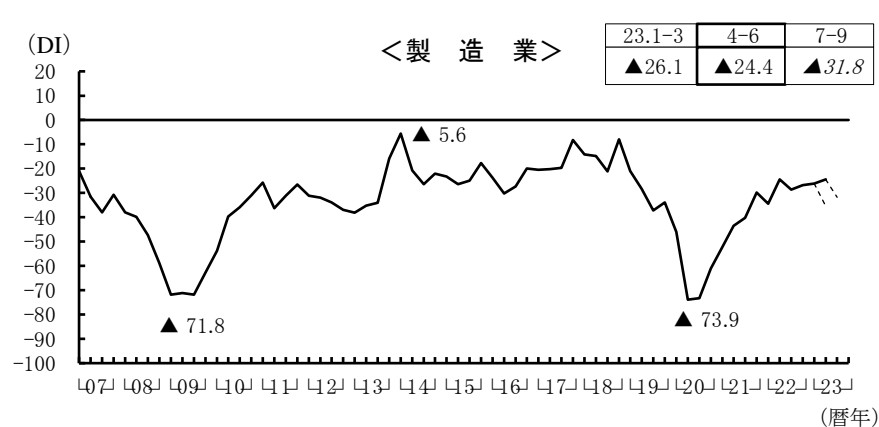


(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

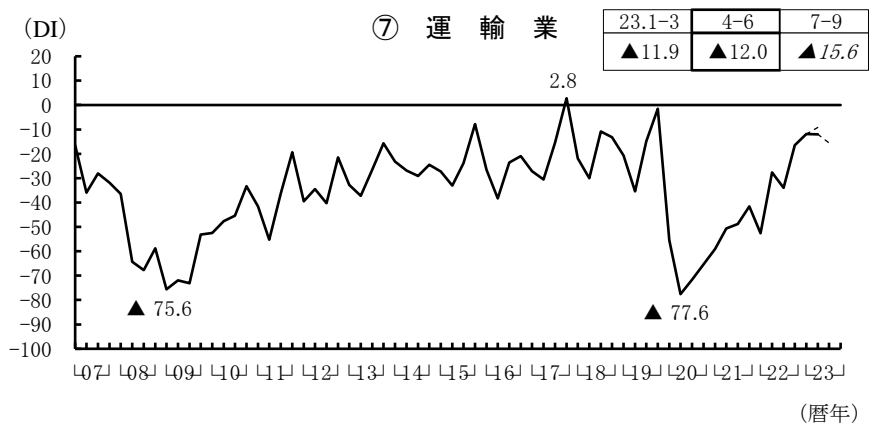
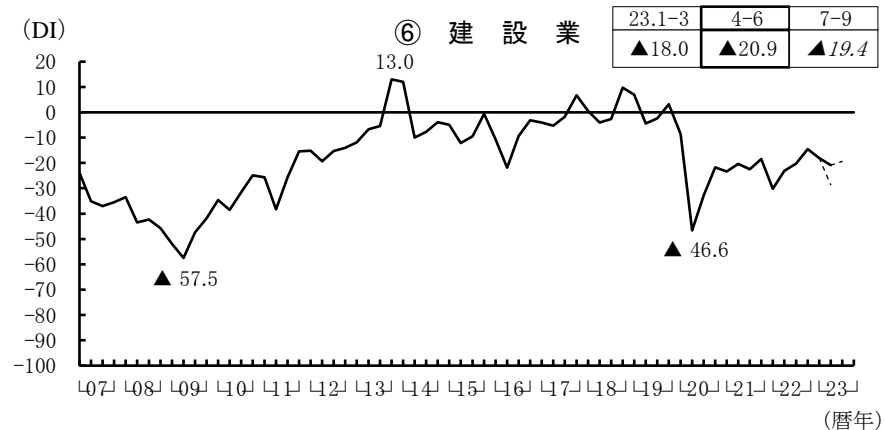
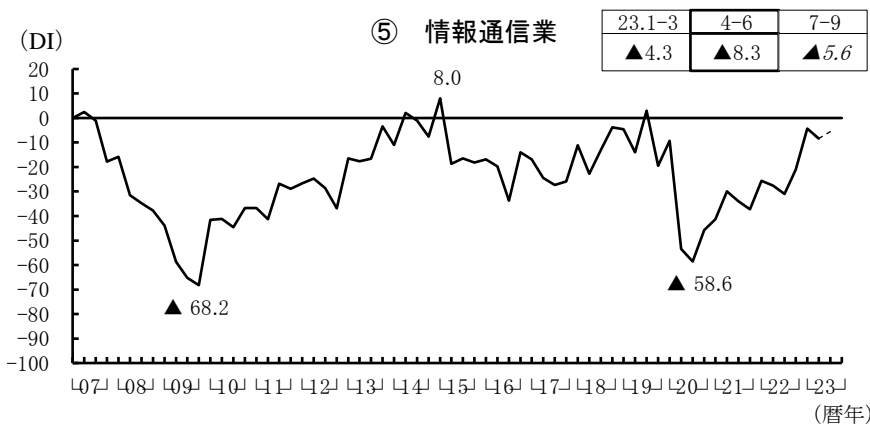
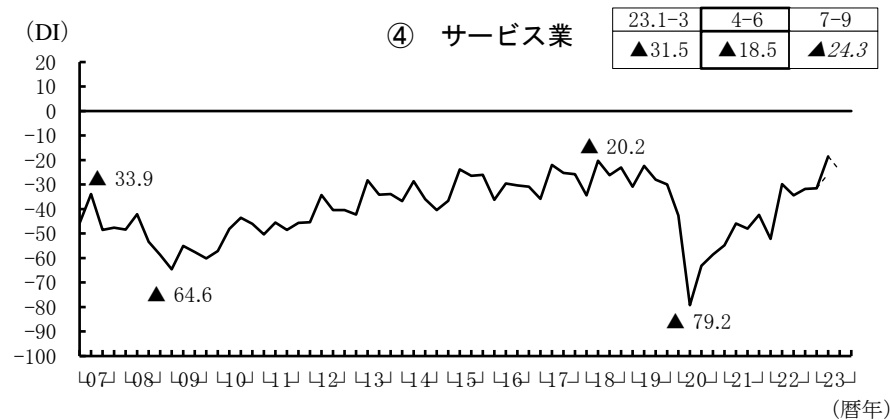
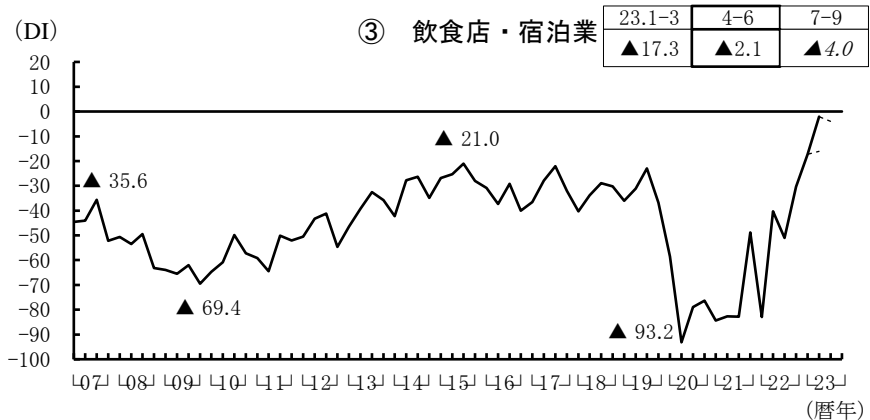
○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲24.4）、非製造業（▲18.8）ともにマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業と建設業、運輸業を除くすべての業種でマイナス幅が縮小した。

○ 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

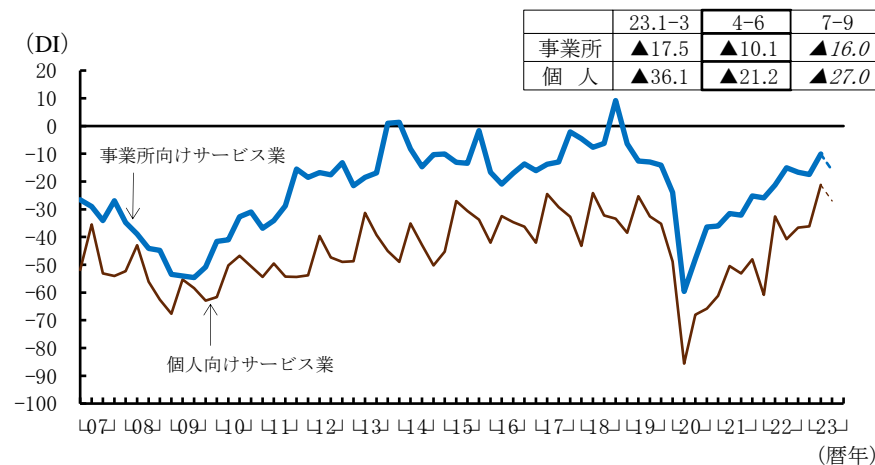
図－２ 業種別業況判断DIの推移





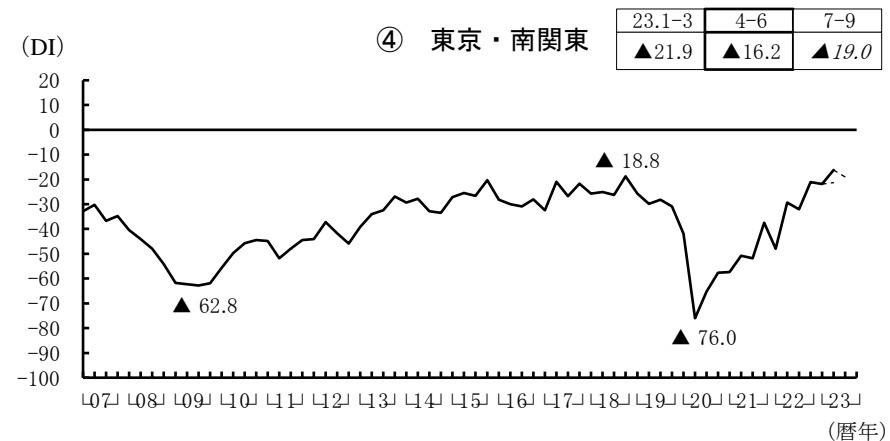
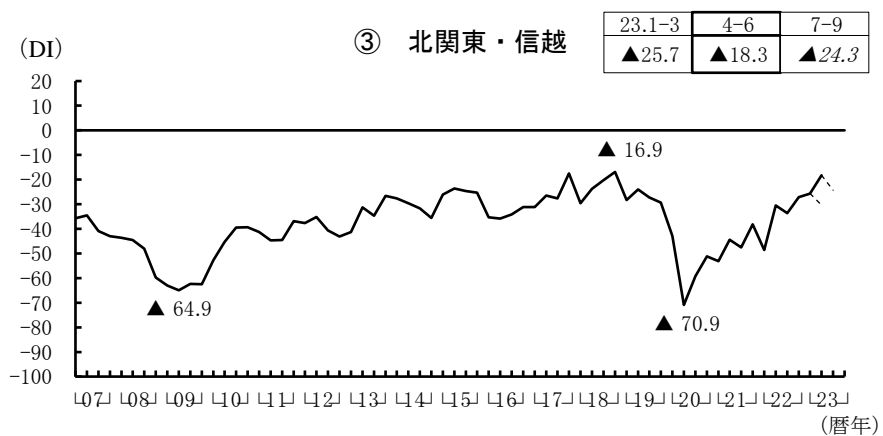
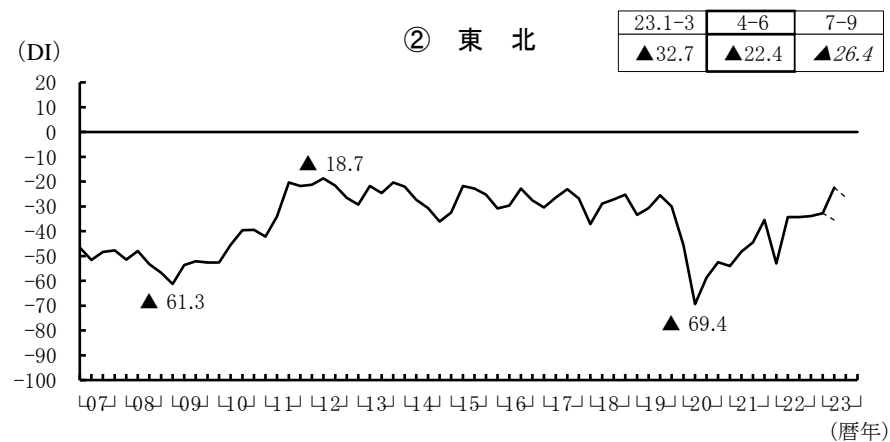
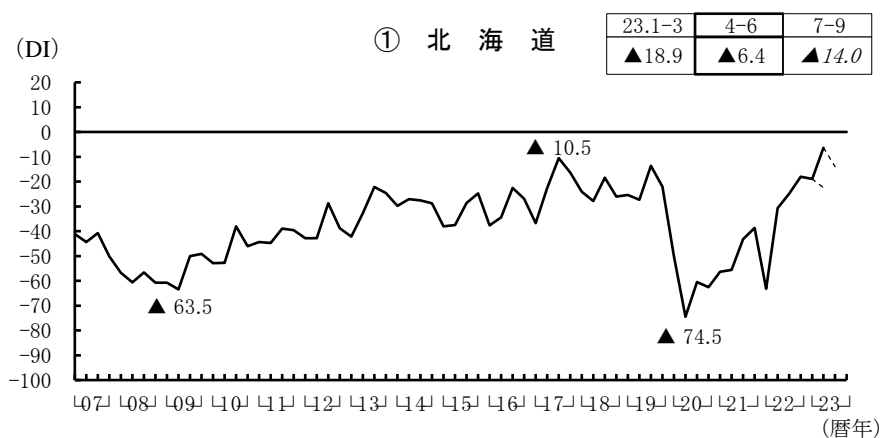


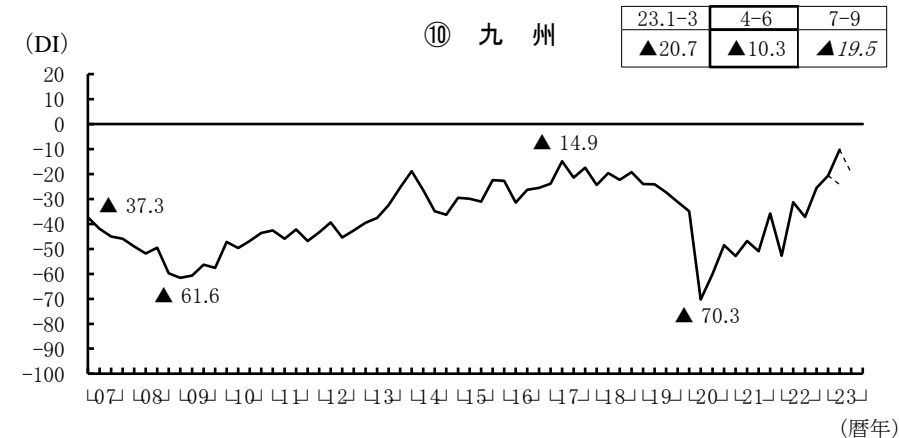
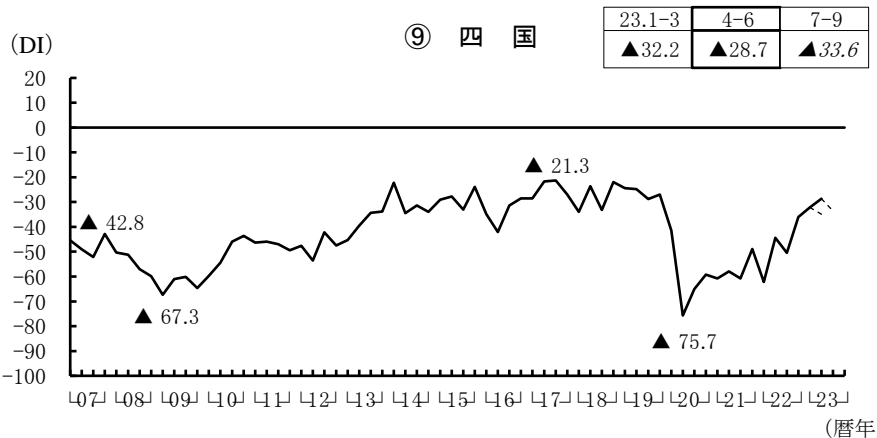
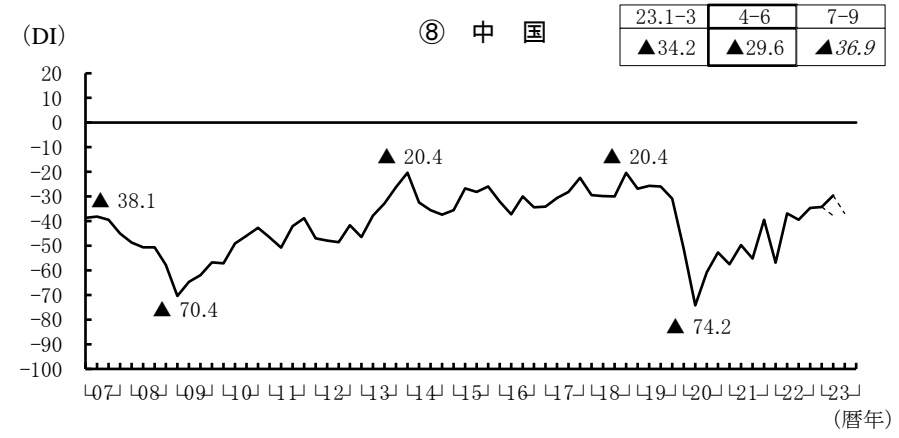
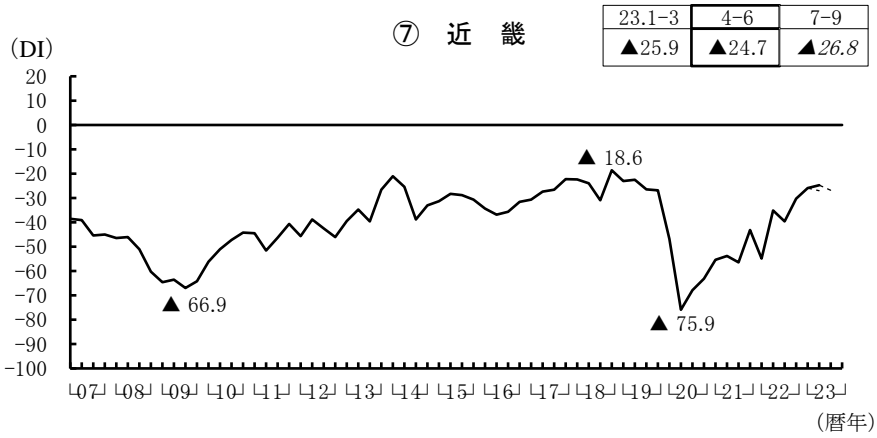
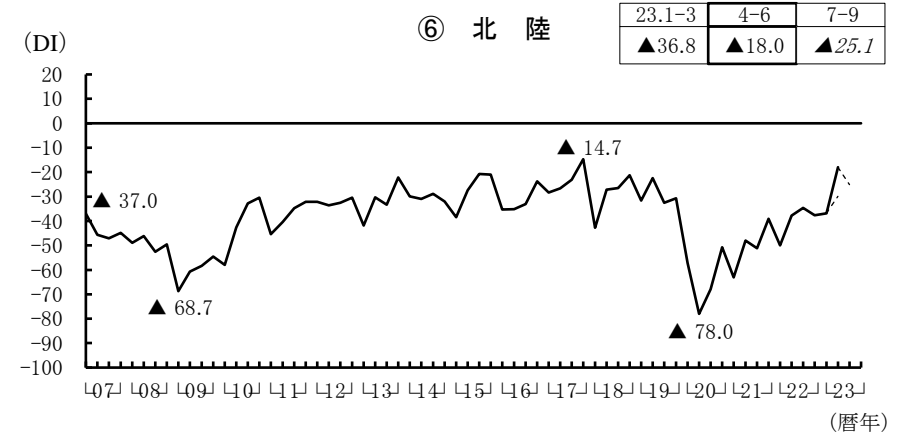
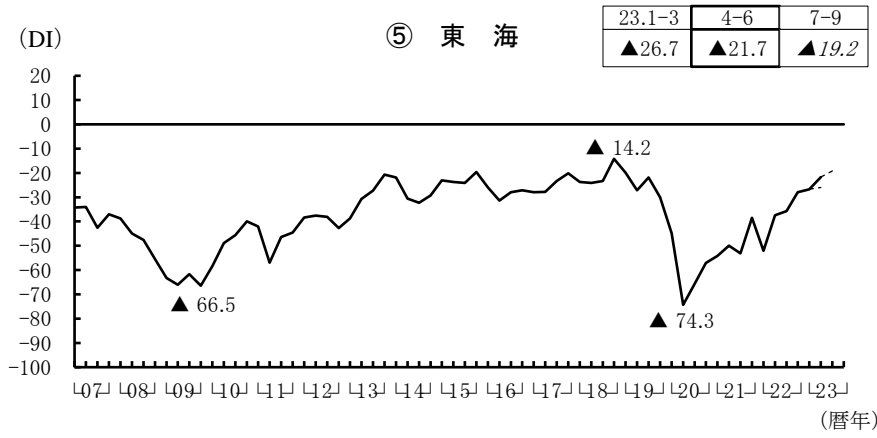
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、東海を除くすべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－3 地域別業況判断DIの推移

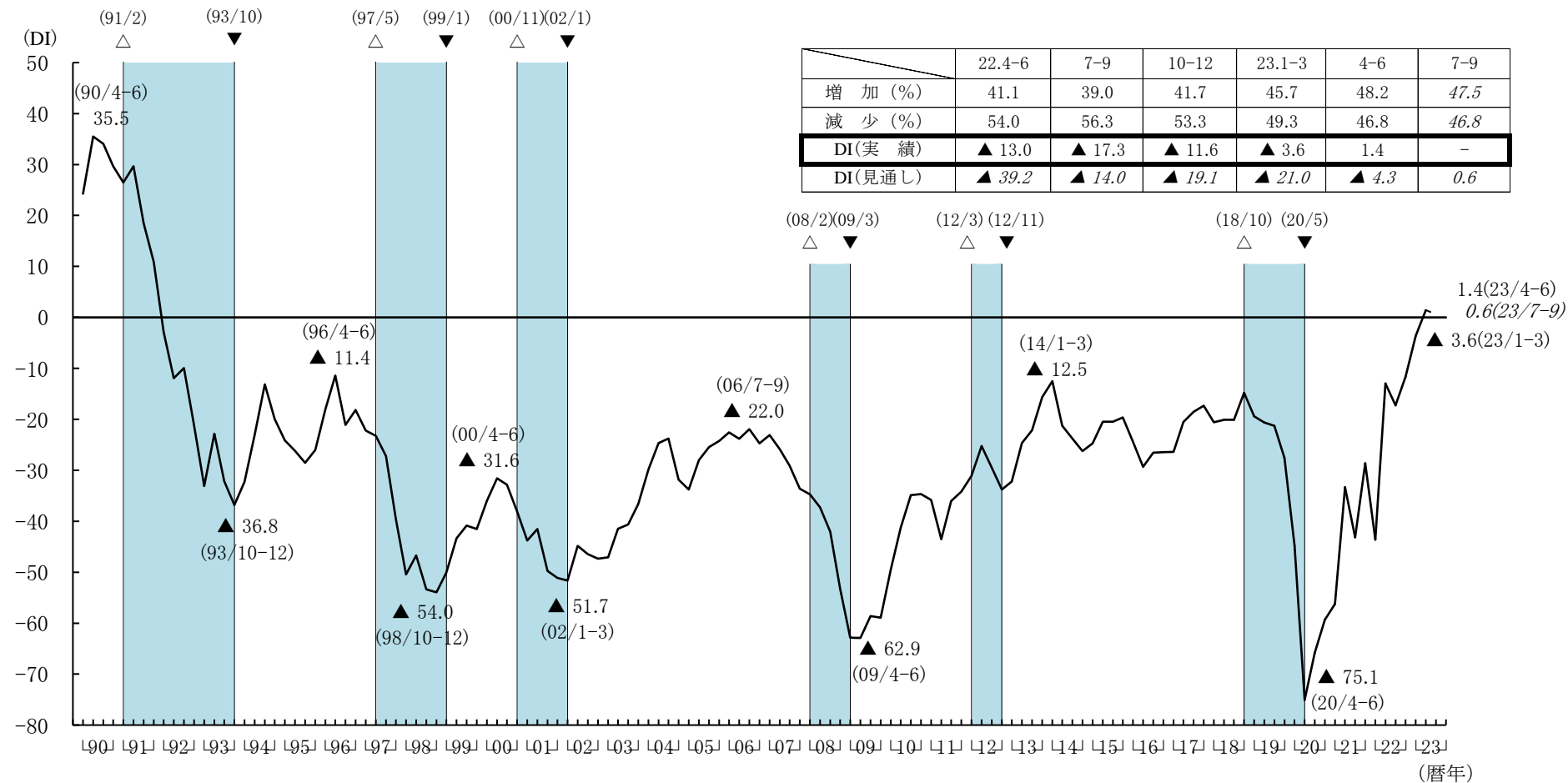




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期から5.0ポイント上昇し、1.4となった。
- 来期は、低下する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



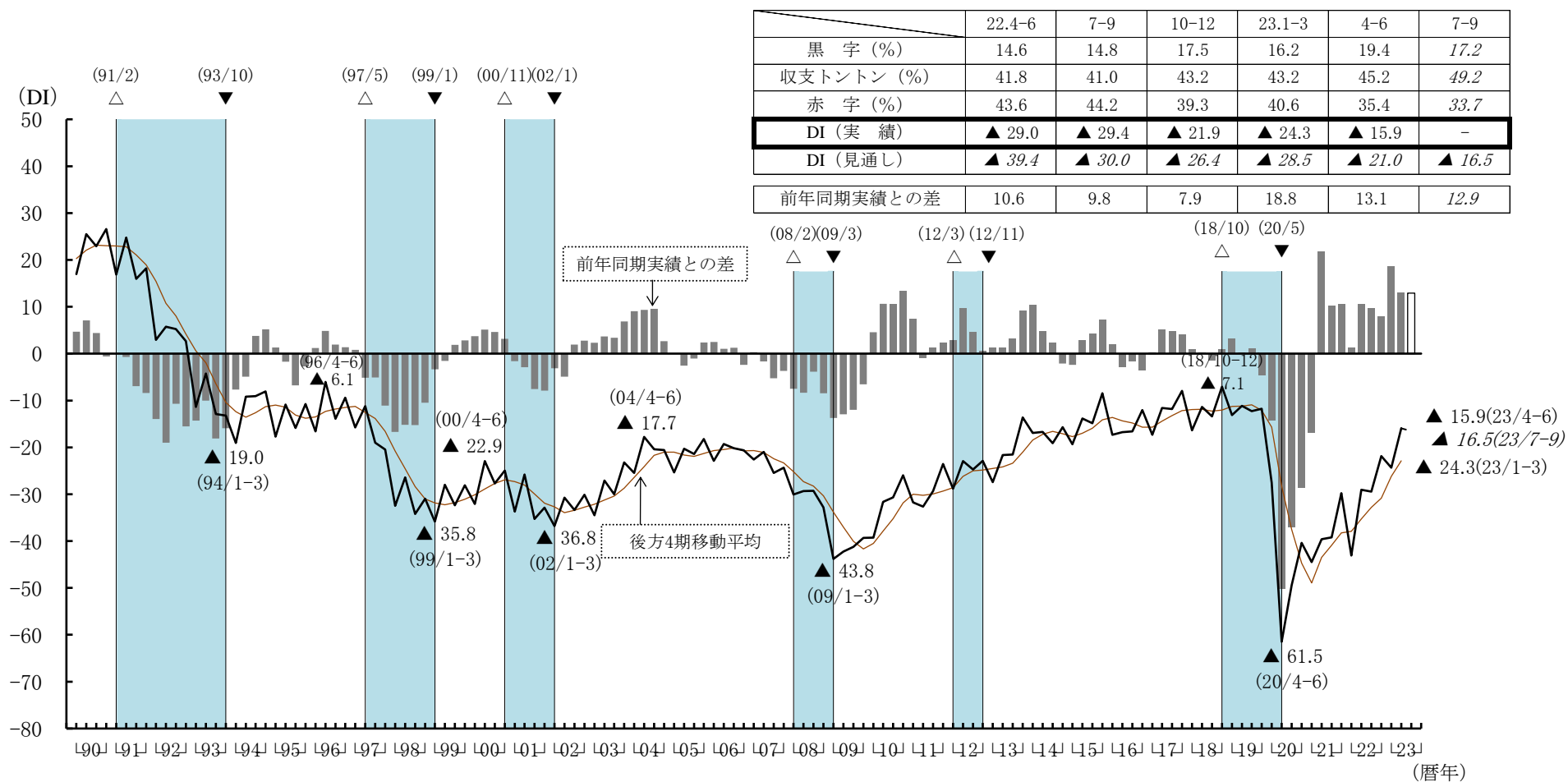
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が8.4ポイント縮小し、▲15.9となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－5 採算DIの推移（全業種計）

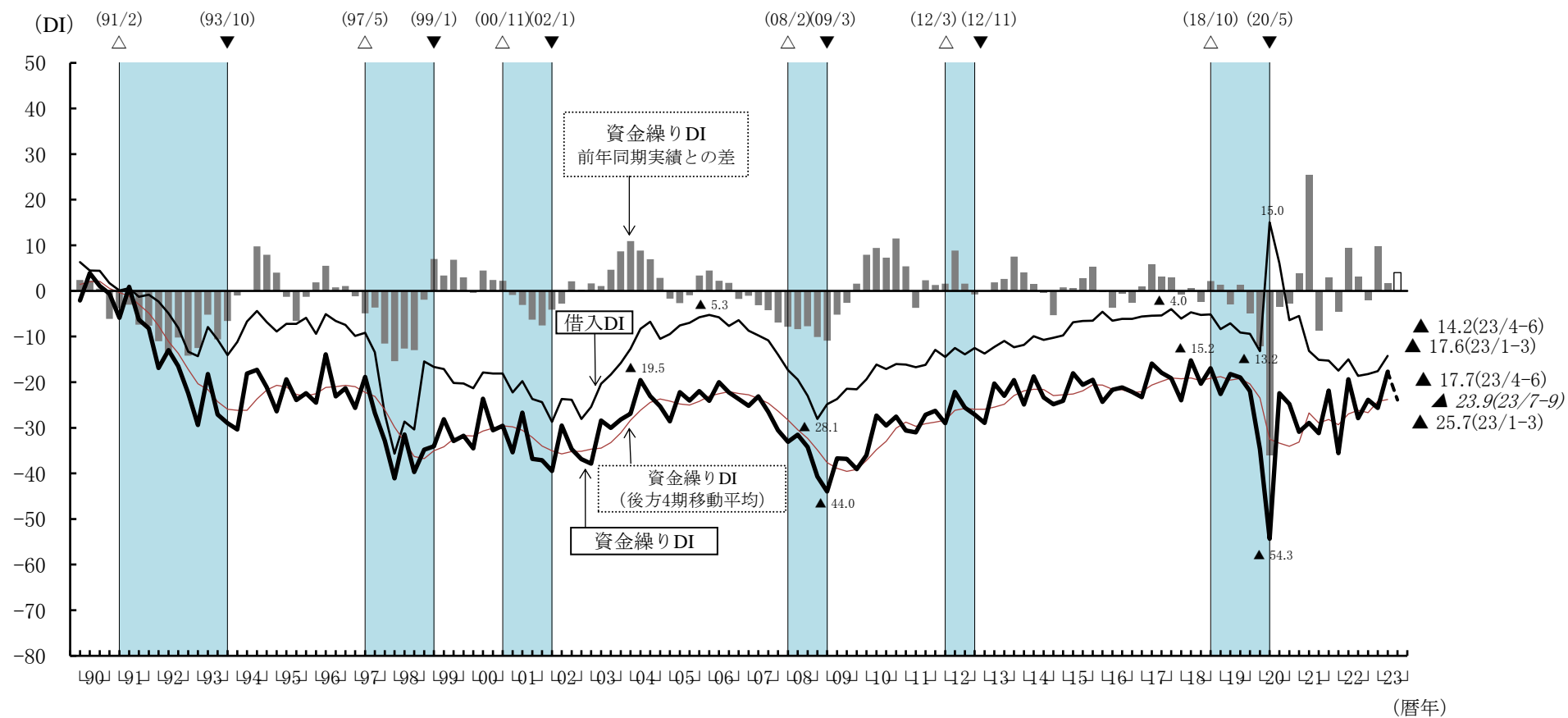


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が8.0ポイント縮小し、▲17.7となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が3.4ポイント縮小し、▲14.2となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



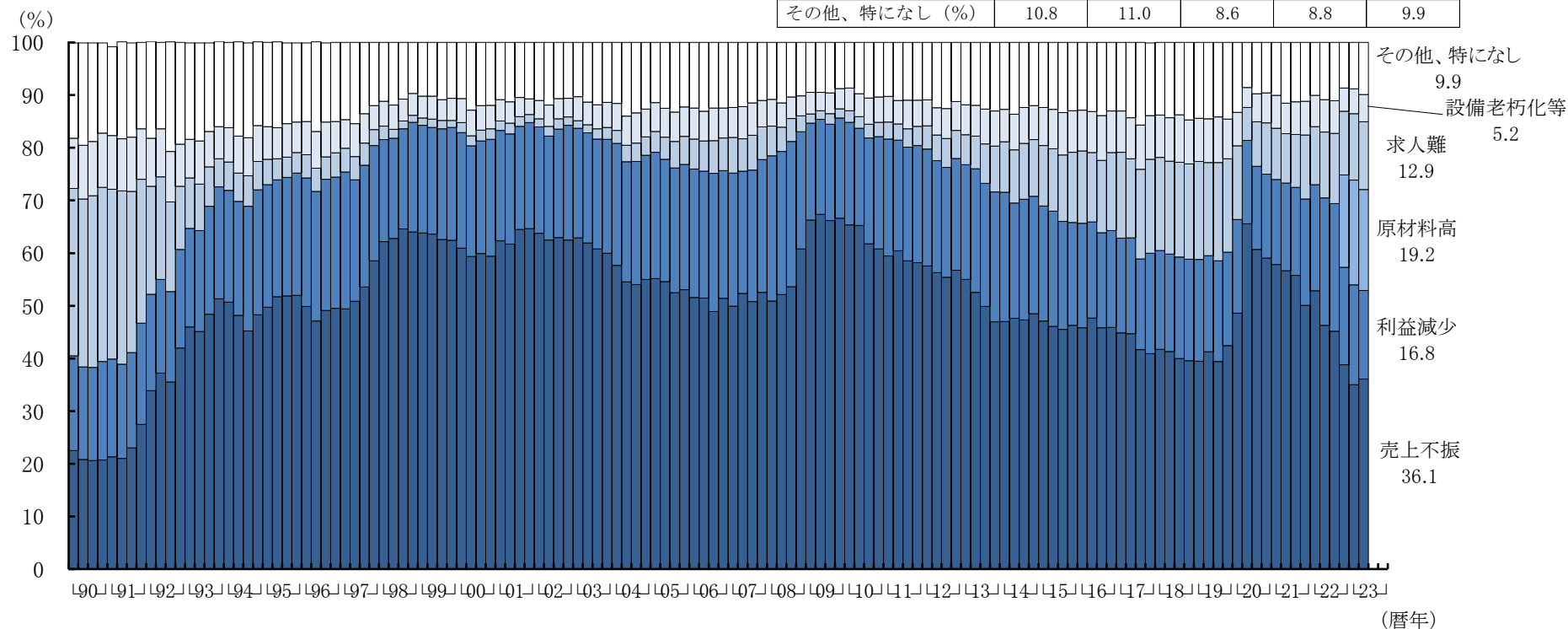
- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が36.1%と最も多く、次いで、「原材料高」（19.2%）、「利益減少」（16.8%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計）

	22.4-6	7-9	10-12	23.1-3	4-6
売上不振 (%)	46.3	45.1	38.8	35.0	36.1
利益減少 (%)	24.2	24.3	18.5	18.9	16.8
原材料高 (%)	-	-	17.5	19.9	19.2
求人難 (%)	12.5	13.3	12.1	12.6	12.9
設備老朽化等 (%)	6.2	6.2	4.4	4.7	5.2
その他、特になし (%)	10.8	11.0	8.6	8.8	9.9

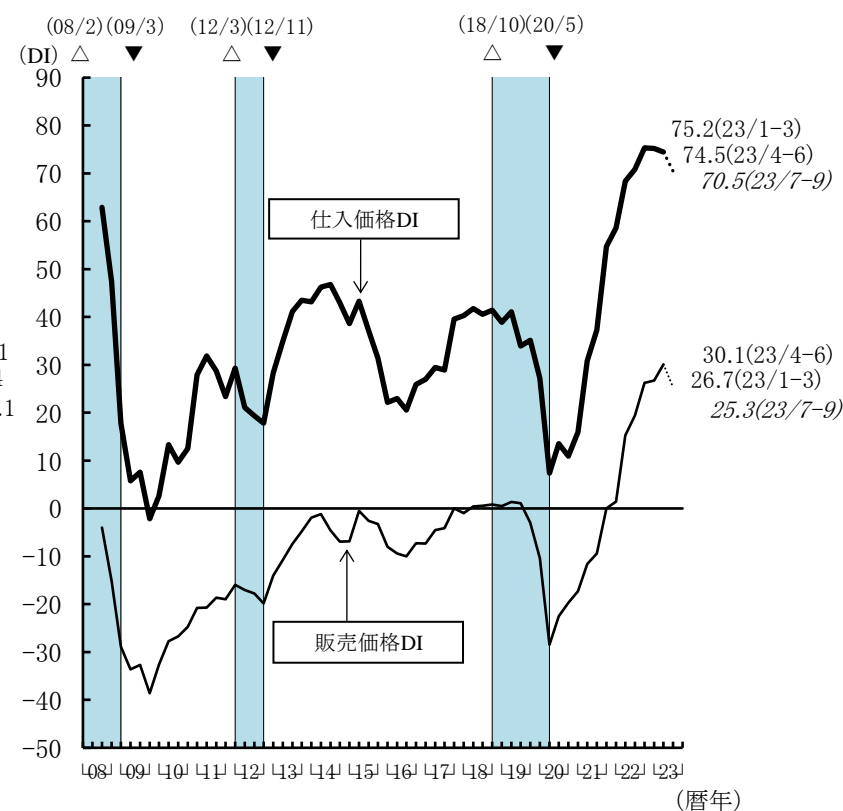
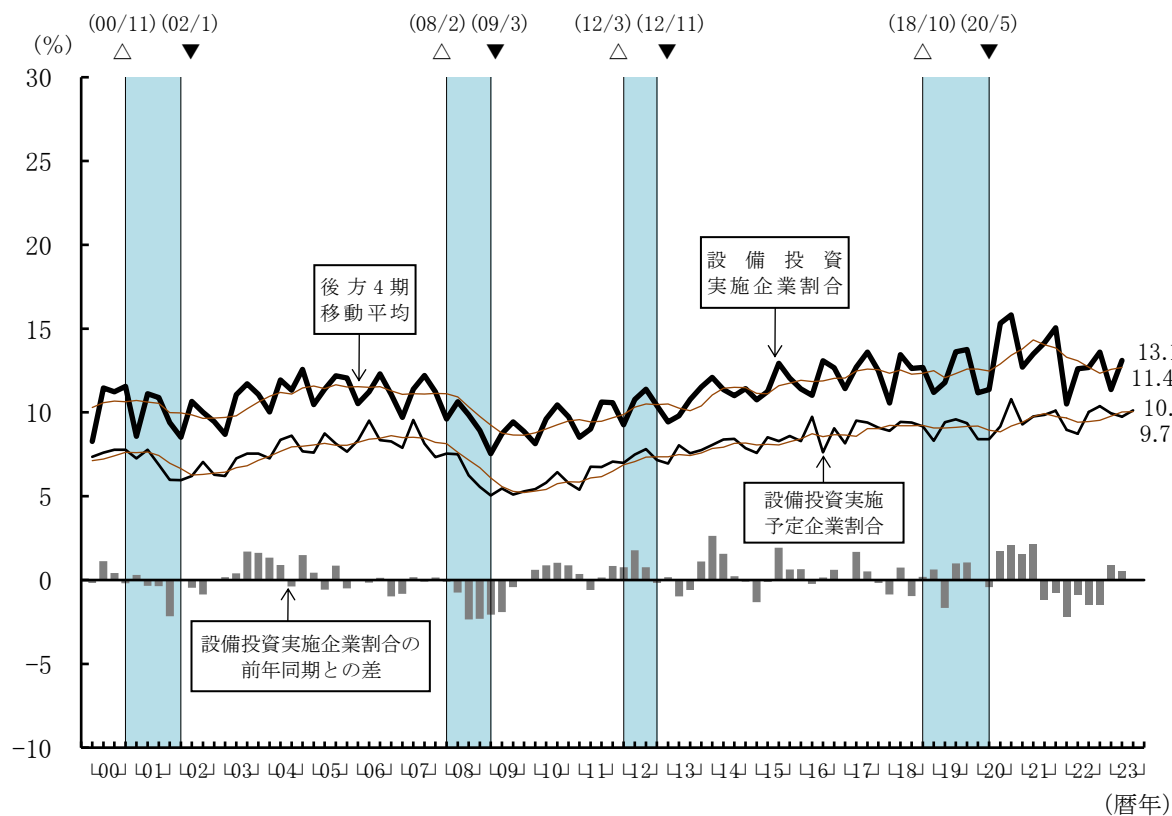


- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。  
 2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したものの。  
 3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から1.7ポイント上昇し、13.1%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、3.4ポイント上昇し、30.1となった。来期は低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、0.7ポイント低下し、74.5となった。来期も低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2023年4－6月期実績、2023年7－9月期および10－12月期見通し)

中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2023年6月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）13,865社
有 効 回 答 数	6,225 社 [回答率 44.9 %]

### <業種構成>

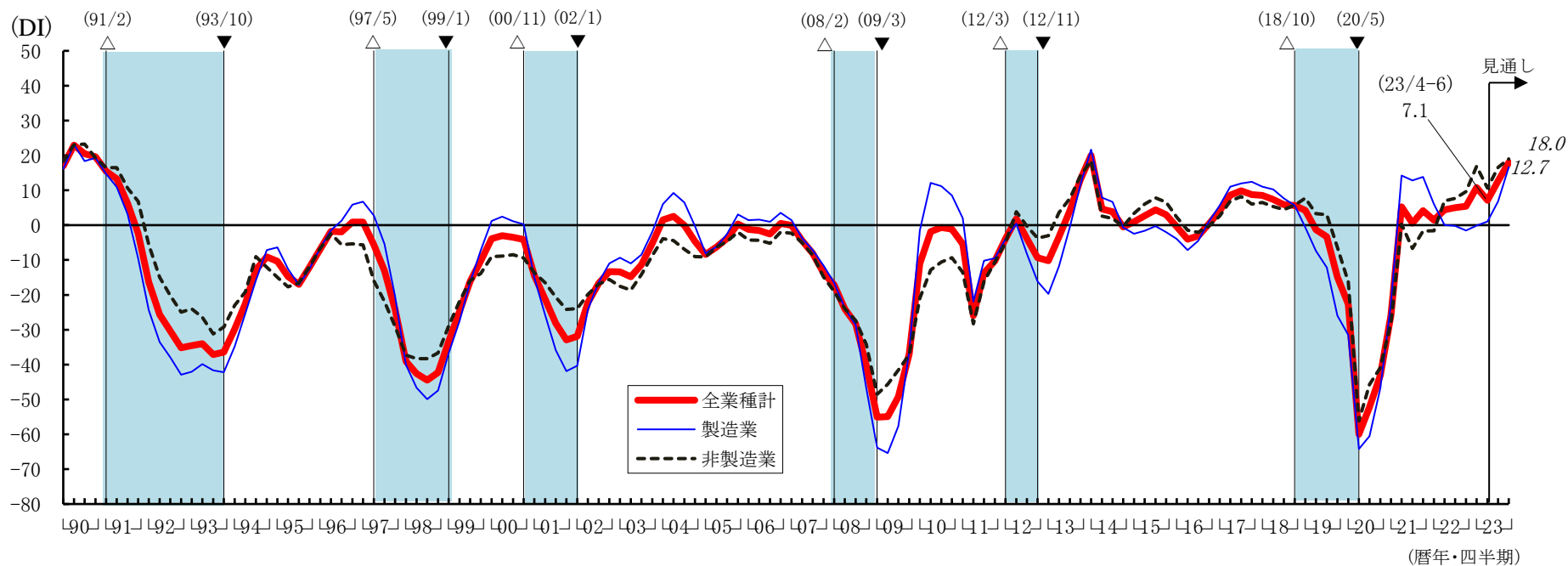
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,608 社	2,155 社	(構成比	34.6 %)
鉱 業	12 社	9 社	( 同	0.1 %)
建 設 業	1,274 社	615 社	( 同	9.9 %)
運送業(除水運)	896 社	449 社	( 同	7.2 %)
水 運 業	160 社	77 社	( 同	1.2 %)
倉 庫 業	51 社	36 社	( 同	0.6 %)
情 報 通 信 業	409 社	151 社	( 同	2.4 %)
ガ ス 供 給 業	11 社	9 社	( 同	0.1 %)
不 動 産 業	804 社	352 社	( 同	5.7 %)
宿泊・飲食サービス業	859 社	312 社	( 同	5.0 %)
卸 売 業	1,993 社	914 社	( 同	14.7 %)
小 売 業	1,007 社	418 社	( 同	6.7 %)
サ ー ビ ス 業	1,781 社	728 社	( 同	11.7 %)

# 1 業況判断

- 今期（2023年4－6月期）の業況判断DIは、前期（2023年1－3月期）から3.7ポイント低下し、7.1となった。
- 来期（2023年7－9月期）は12.7と上昇し、来々期（2023年10－12月期）は18.0となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6 (前回見通し)	2023/7-9 (前回見通し)	2023/10-12
業況判断DI (季節調整値)	4.4	5.0	5.4	10.8	7.1 ( 6.2)	12.7 ( 8.2)	18.0
製 造 業	0.1	▲ 0.2	▲ 1.5	▲ 0.1	1.1 (▲ 1.6)	6.8 ( 2.3)	16.7
非 製 造 業	7.0	7.7	9.6	16.9	10.6 ( 10.3)	16.5 ( 11.8)	19.0



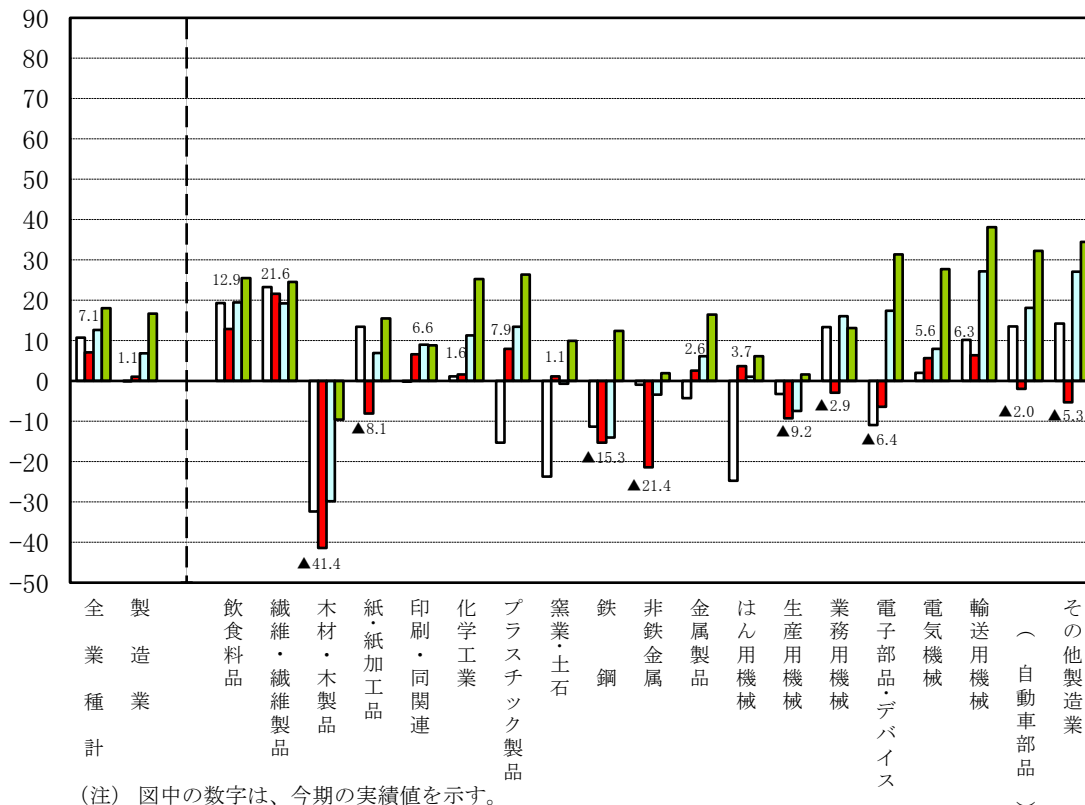
- (注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。  
 3 今期調査において季節調整値の改定を実施した（以下同じ）。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、はん用機械、窯業・土石、プラスチック製品等が上昇した。一方、木材・木製品、紙・紙加工品、非鉄金属等は低下した。
- 非製造業は、倉庫業、水運業、小売業等が上昇した。

図－２ 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

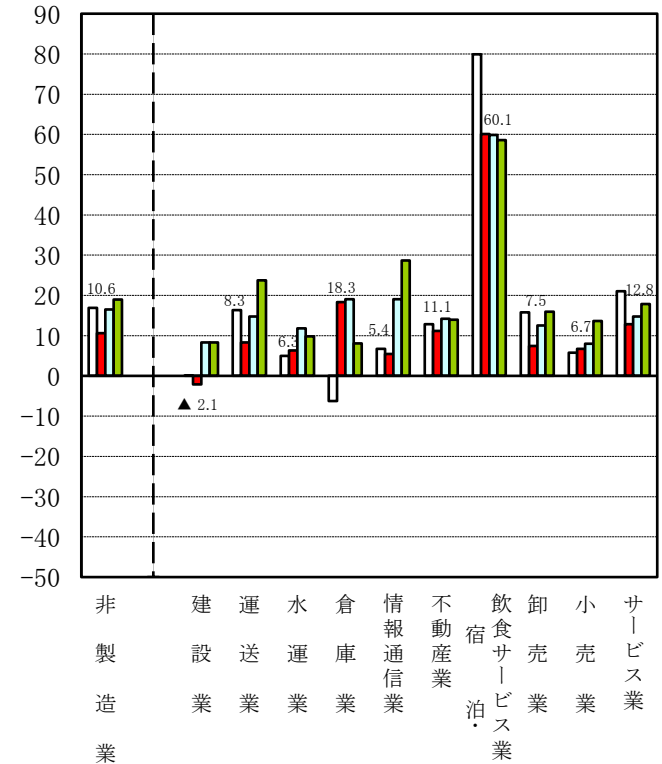


－製造業－  
(DI)



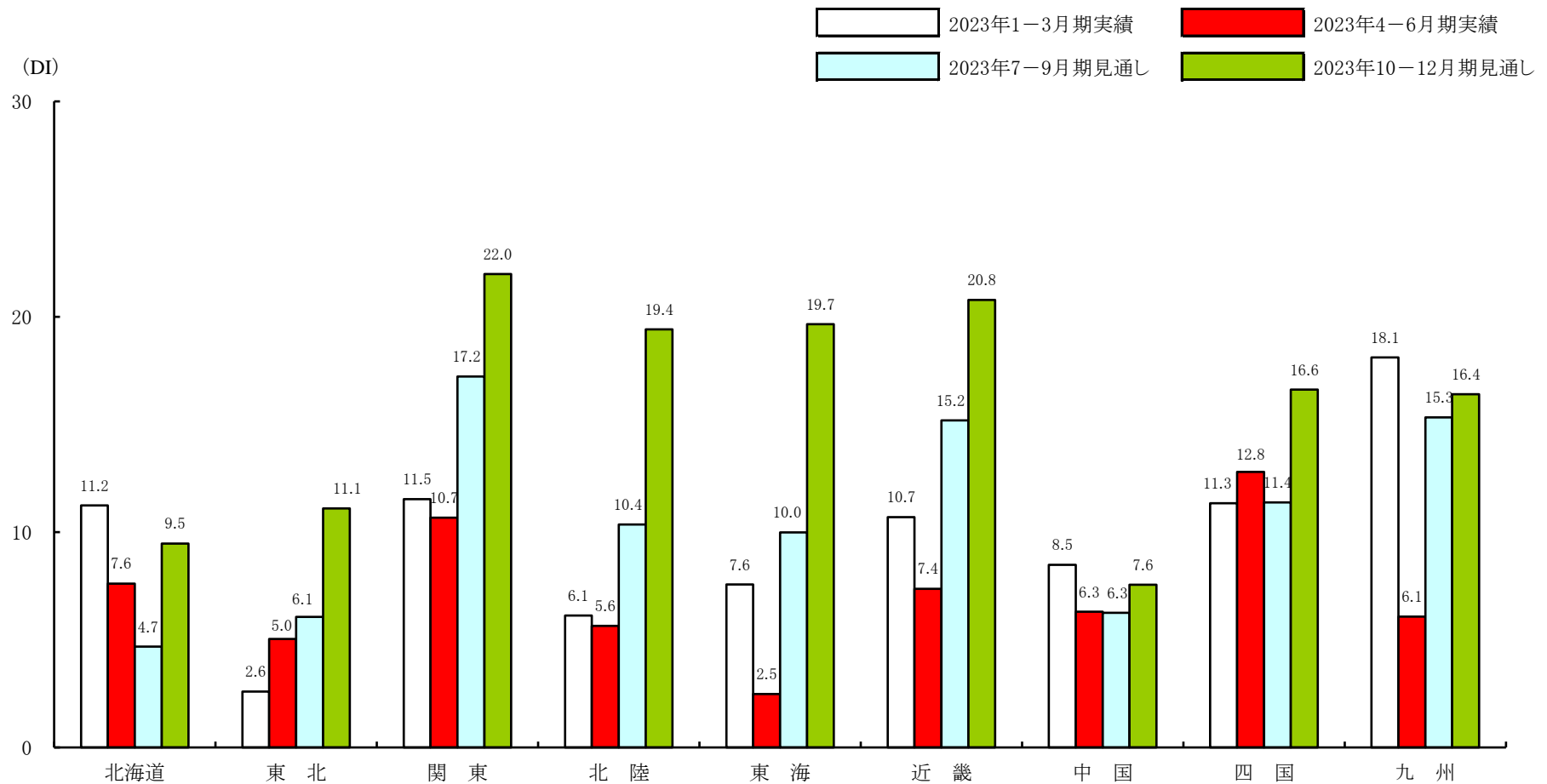
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は東北、四国の2地域で上昇した。
- 来期は、東北、関東、北陸、東海、近畿、九州の6地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

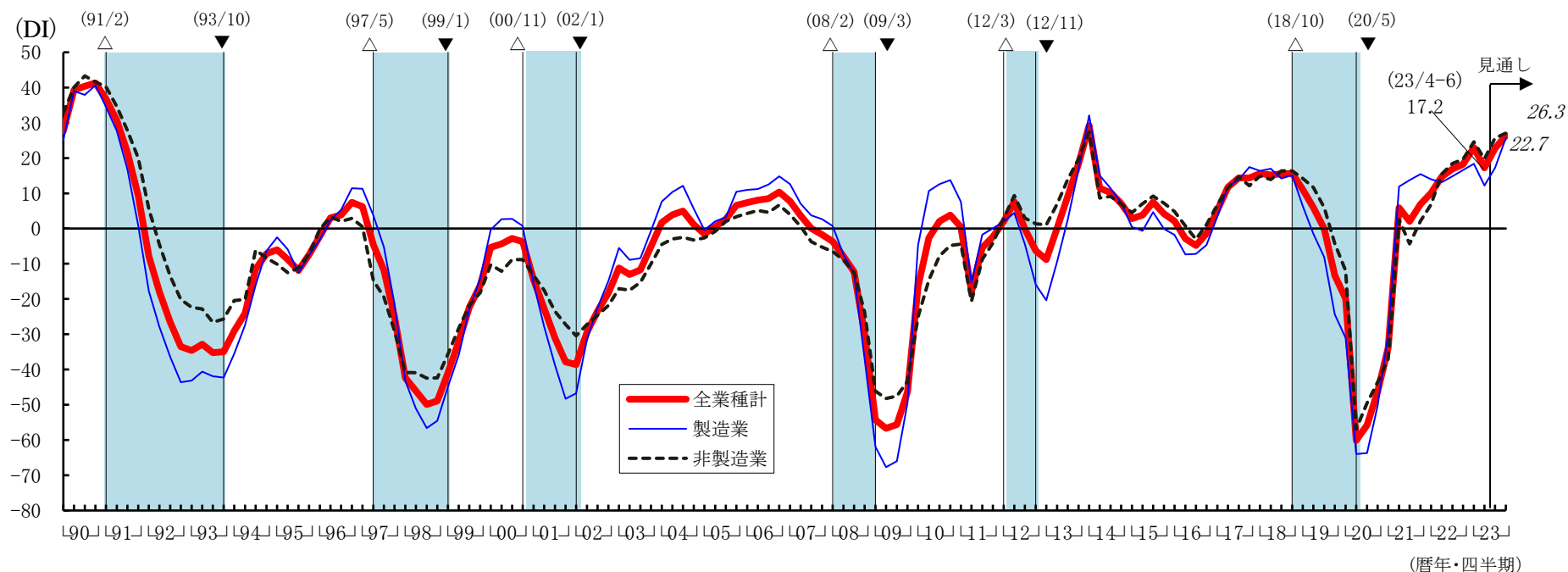


## 2 売 上

- 今期の売上DIは、前期から5.8ポイント低下し、17.2となった。
- 来期は22.7と上昇し、来々期は26.3となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6 (前回見通し)	2023/7-9 (前回見通し)	2023/10-12
売上DI (季節調整値)	14.7	16.9	18.2	23.0	17.2 ( 19.1)	22.7 ( 18.9)	26.3
製 造 業	13.2	14.8	16.6	18.4	12.2 ( 17.3)	17.2 ( 16.5)	25.6
非 製 造 業	15.5	18.4	19.7	24.6	19.8 ( 19.3)	25.6 ( 19.8)	27.0



(注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。

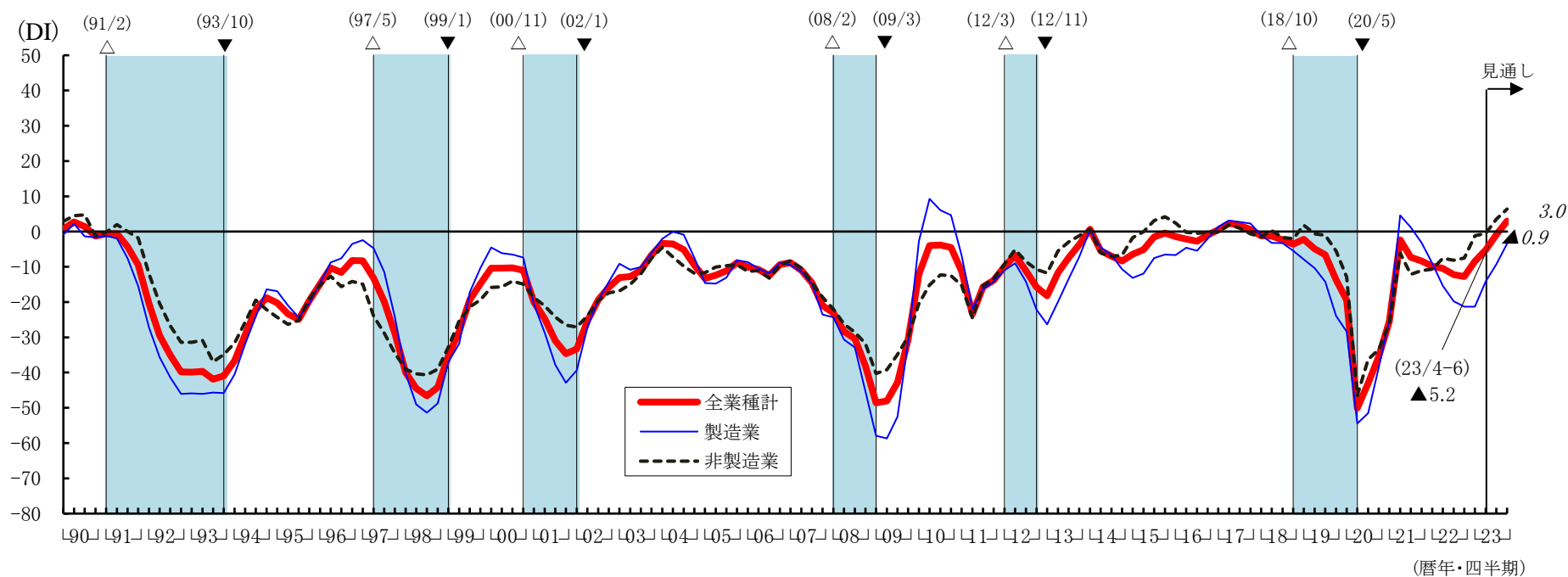
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が3.2ポイント縮小し、▲5.2となった。
- 来期は▲0.9とマイナス幅が縮小し、来々期は3.0となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6 (前回見通し)	2023/7-9 (前回見通し)	2023/10-12
純益率DI (季節調整値)	▲ 10.4	▲ 12.2	▲ 12.7	▲ 8.4	▲ 5.2 (▲ 9.7)	▲ 0.9 (▲ 5.9)	3.0
製 造 業	▲ 15.4	▲ 19.8	▲ 21.3	▲ 21.3	▲ 14.2 (▲ 17.7)	▲ 9.3 (▲ 13.8)	▲ 3.4
非 製 造 業	▲ 7.6	▲ 8.1	▲ 7.5	▲ 1.2	▲ 0.5 (▲ 4.7)	3.5 (▲ 1.3)	6.4

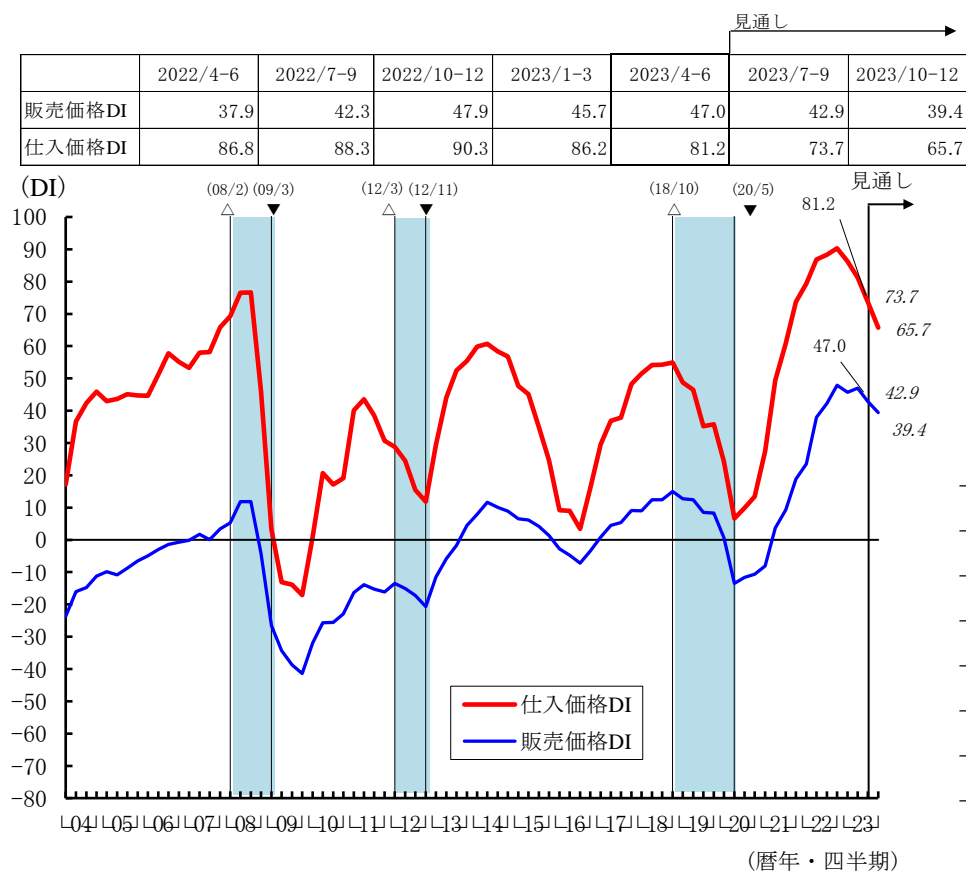


- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

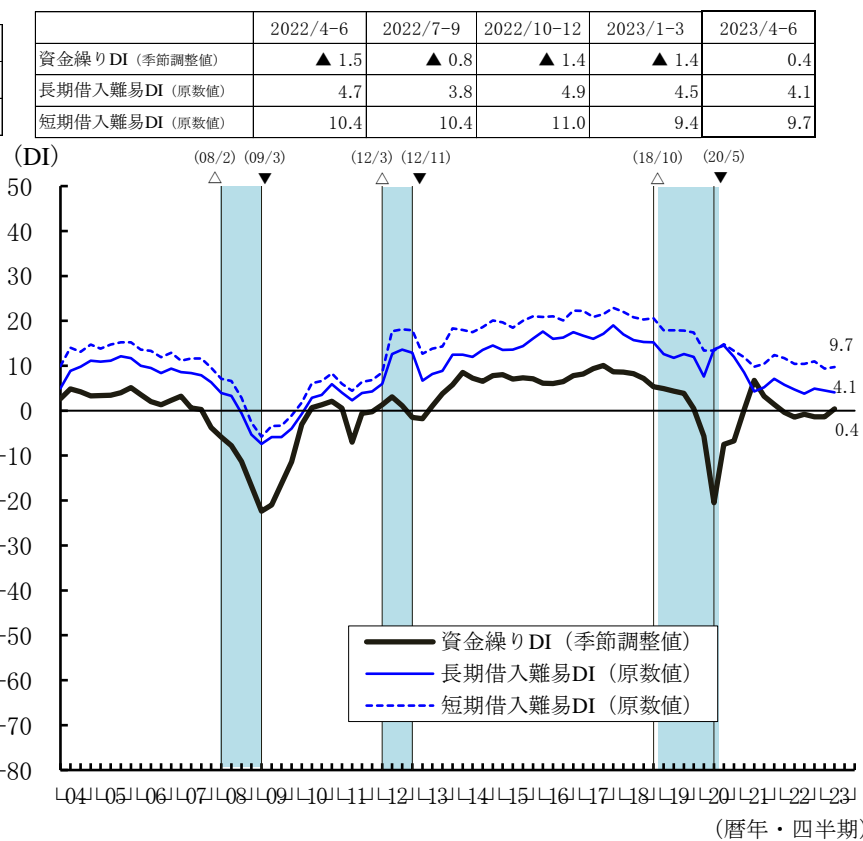
- 今期の販売価格DIは、前期から1.3ポイント上昇し、47.0となった。仕入価格DIは前期から5.0ポイント低下し、81.2となった。来期の販売価格DI、仕入価格DIは、ともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは、前期から上昇した。長期借入難易DI、短期借入難易DIは、ともに前期からほぼ横ばいとなった。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

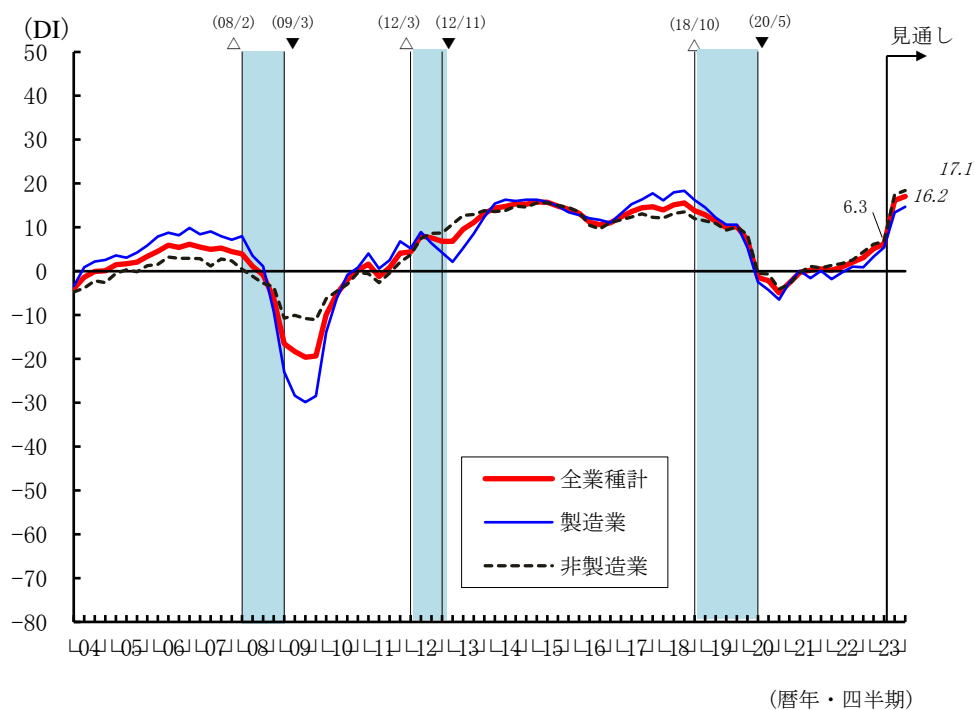


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から1.2ポイント上昇し、6.3となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から3.3ポイント上昇し、38.7%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

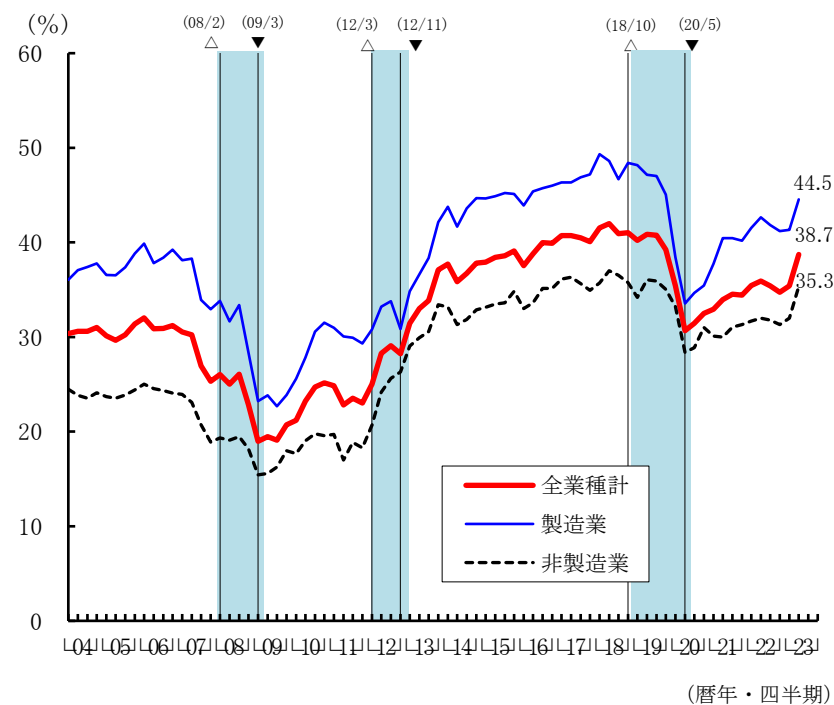
	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12
全業種計	1.0	2.1	3.1	5.1	6.3	16.2	17.1
製造業	▲ 0.3	1.0	0.9	3.3	5.4	13.4	14.7
非製造業	1.8	2.6	4.4	6.1	6.8	17.5	18.4



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6
全業種計	35.9	35.4	34.7	35.4	38.7
製造業	42.6	41.8	41.2	41.3	44.5
非製造業	32.0	31.8	31.3	32.0	35.3



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が27.3%と最も多く、次いで、「原材料高」（25.8%）、「求人難」（24.6%）となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は1.7ポイント上昇した。「原材料高」は5.8ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

